



社教NFTかわら版

中部教育事務所社会教育だより(NFT=network・footwork・teamwork)

中部教育事務所第19号
平成29年3月10日
主任社会教育主事
濱田光男・野村郁

☆中部教育事務所管内の社会教育情報を発信します☆

平成28年度 PTA・教育行政研修会

PTA・教育行政研修会は、行政(高知県教育委員会と市町村教育委員会)とPTAの皆さまと一緒に、子どものことを考える研修会(共催事業)です。各地区の研修会で「ネット問題」「子どもとのかかわり」「PTA活動の活性化」について協議が行われました。会に参加された方の満足度も高く、研修会で学んだことを各単位PTAで報告し、新たな取組を実施した事例も100%となりました。来年度も参加して良かったと思えるような研修会を計画していきたいと考えていますので、すべての学校、地教委から研修会への参加をよろしくお願ひします。

【平成28年度の各分科会の報告などは、各単位PTAに配付しておりますのでご参照下さい】

各地区のPTA研究大会より

吾川郡PTA連合会

11月13日 仁淀川町立
別府小学校



↑別府小児童の皆さん
↓安藤桃子さん



別府小児童によるYDK【やればできる子】の劇披露、別府小PTAの実践発表「学校・地域と連携したPTA ～笑顔あふれる別府っ子～」、安藤桃子さんの講演会が行われました。

【安藤さんの講演:要約】

「7代先の子どもたちへ、残したくないもの」

私は、映画監督・執筆活動の仕事をしており、父は奥田瑛二、母は安藤和津、妹が安藤サクラという芸能家族の長女です。今だから話もできますが、海外留学や芸能界デビュー当時は、様々な差別を受け、精神的にもダメージを受けていました。学力や経済成長率の数字だけを見ると、高知は貧困県になりますが、実態は幸福度が高い県ではないでしょうか。高知にはあらゆるところに本物があり、他では体験できないことがあります。本質的な価値観というものを、小さな時に教えておけば、たとえ高知を離れたとしても、アイデンティティは残り、高知人として「生きる力」はしっかり育まれます。過去にいじめを受けた私にとって、高知はパラダイスです。しんどいことが吹っ飛んでいく。だから家族を連れて高知に移住しました。高知の人は、気付いていないかもしれませんが、もっと高知人として自覚を持つべきです。これから先に生まれる子どもたちのためにも・・・

土長南国PTA連合協議会

11月19日 土佐町立土佐町小中学校



土佐町小の児童の皆さん

土佐町小児童による和太鼓披露、土佐町中PTAの事例発表【子ども・学校と地域が連携した土佐町中3年生「空き家再生プロジェクト」】、【スマホ・ケータイ安全教室】が行われました。

事例発表された「空き家再生プロジェクト」は、子ども達が主体的に地域でどんな貢献ができるかを考え、「この町が好き！この町で暮らしたい！」という思いに地域おこし協力隊や社会福祉協議会が協力したというものです。3年生が再生した住居は、県外から進出した企業の移住に活用され、町の活性化に貢献しているとのことでした。このプロジェクトを通して「将来町外に出ても、いつかは町に戻って地域と共に生活したい」と思える郷土愛が確実に育成されており、子ども達の達成感にもつながっているという報告がありました。

高岡地区PTA連合会

12月4日 越知町民会館



尾崎正直 高知県知事

越知町PTA連合会より「越知町の教育改革に果たす学校・PTA・地域の連携と協力について」の実践発表が行われました。その後、尾崎正直高知県知事による「教育改革の取組について」の講演があり、知事自らパワーポイントを使って1時間にわたり熱弁して下さい、講演後の質問にも的確に分かりやすく答えて下さいました。会場は300名を軽く超す参加者であふれ、用意した席が足りなくなるほどでした。高知県の教育に対して、知事の力の入れようが分かる研修会になりました。

【尾崎知事の講演:要約】

将来の防災リーダーの育成を目的とした世界初となる「高校生サミット」が、先日30カ国の高校生が参加して、黒潮町で開催された。高知の高校生が、海外の高校生ときちんと渡り合えるか不安だったが、直接現地でサミットを見た時にそんな不安は飛んでいった。各国の高校生と英語で意見を出し合い、コミュニケーションもとれていた。まさしく私が求めているのはこれだ。付けるべき力を子どもたちに付けさせることができれば、後は子ども達が自分の力でぐんぐん育っていく。平成19年度に知事に就任した際、児童生徒の学力・体力・生徒指導上の諸問題が全国最低基準の結果となり衝撃を覚えた。待ったなしの危機的状況の改善に向けて教育改革を推進した結果、状況は着実に改善されたが、様々な課題が知・徳・体の分野で未だある。

そこで平成28年3月に教育等の振興に関する施策の大綱をかけた、5つの取組の方向性と基本目標の実現に向けて対応している。今日お集まりになったPTAの方々には、5つの施策の中で特に「地域との連携・協働」の分野で協力してもらいたい。県としてすべての学校に「学校支援地域本部」を設置するように呼びかけている。学習支援、部活動支援、環境整備、安全指導、学校行事支援など、子どもたちが地域の様々な大人に見守られて育っていく環境をつくるのが重要であり、皆さまには今後とも、子どもたちの成長を支える「チーム学校」の一員として、協力をお願いしたい。

中央地区・高岡地区社会教育委員連絡協議会 研修会

中央地区・・・11月24日(大豊町)
「大豊町の文化財と社会教育」についての現状報告と豊永郷民俗資料館の現地研修を行いました。

高岡地区・・・1月13日(日高村)
「第58回全国社会教育研究大会」と「第39回中国・四国地区社会教育大会」の参加報告を行いました。その後、下記の内容で日高村出身の漫画家「くさか里樹」さんの講演が行われました。



漫画家の『くさか里樹さん』

【くさか里樹さんの講演:要約】

ご存知かもしれませんが私は、出身地である日高村日下の地名から名前を取り、昭和55年に漫画家としてデビューしています。特に講談社から発売されている介護漫画「ヘルプマン！」は私にとって大きな転機になりました。実は私、介護経験はないのですが、「マンガ脳」という発想力をフル活用して、暗いイメージの介護を明るいイメージにして、「3Kではない」「大変ではない」と介護に関心を持ってもらえるように努力しています。漫画の原案を探るために、介護現場にも足を運んで、そこで出会った人物から題材のヒントをもらっています。人が起こす行動の理由、これまでの生活の背後関係、自尊心の尊重を理解すると、介護職人を困らせる行動に変化が生まれ、人間らしい表情になった事例はたくさんあります。認知症の人は、「記憶すること」や「できること」が少なくなるのは事実ですが、認識力等はある、自分自身でどうしようもないもどかしさ、悔しさから自己ネグレクトや自分から人間スイッチを切っています。毎日の生活の中で、できることは最大限させ、生活の支援を行いながら人生をエンジョイをさせることで、介護の実態は変わってきます。

社会教育も地域の特性を活かしますが、人間の特性も活かすことができるように、私の話を参考にしてもらえればありがたいと思います。「こちら愉快護情報局」というホームページを開設しており、厚生労働省の真面目なコーナーをはじめ、ちょっと笑えたり、いろいろ知っておけば役に立つ内容をアップしているので、ぜひ、多くの人に知らせてもらい見ていただきたいです。

ぜひ、アクセスしてください！ ↓

「こちら愉快護情報局」アドレス <http://kochiyuka.com/>

文化財保護連絡協議会 ・ 文化協会

高岡地区文化財保護連絡協議会と高岡地区文化協会の合同研修会が、10月25日に越知町民会館で開催されました。講師に土佐師談会の朝倉慶景理事をお招きし、越知町にゆかりのある「義天玄詔について」の講演、その後、峰興寺と養蚕資料館での現地研修が主な内容でした。

峰興寺は、越知町内では「文殊様」として親しまれており、白馬に乗った馬鳴菩薩像が有名です。この菩薩像は養蚕家の守仏にもなっており、養蚕家有志によって建立されました。

さて、この養蚕ですが、かつては国の重要な産業として位置付けられた時代もあり、それらの歴史の検証として、越知町には「蚕糸資料館」が建てられており毎週日曜日に開館しています。平日でも、事前に越知町教育委員会に連絡をすれば開館してくれます。

資料館の中には、蚕～繭～生糸～出荷するまでの工程が展示されています。建物の外には「オナガドリ」のモニュメントが取りつけられていますが、これは生糸を出荷するときの商標で、海外にむけて輸出する際にも、インパクトがあったそうです。越知町の歴史を知るきっかけに、見学はいかがでしょうか？



『蚕糸資料館』

蚕糸資料館の連絡先
越知町教育委員会(平日のみ)
(電話0889-26-3400)

開館時間: 9時～17時(日曜日)

入館料: 無料



『峰興寺』

中央地区文化協会 「第36回東西南北まわり舞台」開催日決定

第36回東西南北まわり舞台は、平成29年7月9日に、大川村小中学校体育館を会場に開催されることが決定しました。当日は中央地区文化協会に加盟する団体から推薦された人々による舞台芸能が披露されます。離島を除いて、日本で一番人口の少ない大川村に、15年ぶりにまわり舞台が戻ってきます。ぜひ、多くの皆さまにお越しいただきたいと大川村関係者がラブコールを送っています。

開催日: 平成29年7月9日(日) (10時～16時)

会場: 大川村小中学校体育館

様々な社会教育団体の活動が行われていると思います。ぜひ、取組や情報を紹介させてください。中部教育事務所までご連絡をお願いします。担当: 濱田光男、野村郁(088-893-6166)